

令和2年第2回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和2年2月27日（木）午後4時00分
第一分庁舎2階会議室

2 出席者

教育長 畠山 敏一
1 番 島津 豊
2 番 伊東 潤一郎
3 番 山浦 春美
4 番 片山 さゆり

3 出席職員

次長兼教育総務課長	南塚 智樹	学校教育課長	上坂 一弘
生涯学習・スポーツ課長	政二 弘明	地域協働課長	山本 浩司
こども課長	窪田 昌之	給食センター所長	藤田 晶子
図書館長	初道 ゆかり	埋没林博物館長	高吹 浩司
水族館博物館管理課長	石川 勝弘	総務係長	米澤 祐治
学校教育係長	近堂 暢昭	生涯学習・文化係長	塩田 明弘
スポーツ係長	高森 哲也		

4 傍聴人 なし

5 会議の要旨

午後4時00分、畠山教育長が開会を宣する。

(1) 前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

(2) 議案

議案第4号 新川学びの森天神山交流館条例施行規則の一部改正について

塩田生涯学習・文化係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第5号 魚津市営体育施設条例施行規則の一部改正について

高森スポーツ係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第6号 魚津市公民館条例施行規則の一部改正について

山本地域協働課長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第7号 魚津市立博物館条例施行規則の一部改正について

塩田生涯学習・文化係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 8 号 魚津市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

米澤総務係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 9 号 魚津市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について

米澤総務係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 10 号 魚津市公用車安全運転管理規程の一部改正について

米澤総務係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 11 号 下新川・黒部・魚津地区教科用図書採択協議会要綱の制定について

近堂学校教育係長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 12 号 魚津市少年補導センター設置要綱の制定について

塩田生涯学習・文化長から説明し、一部修正を行うことを条件に全員承認した。

議案第 13 号 公営施設使用の個人演説会等の開催のために必要な設備の程度その他の必要な事項について

山本地域協働課長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 14 号 公営費用納付額について

山本地域協働課長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 15 号 魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について

山本地域協働課長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 16 号 教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（平成 30 年度分）について

米澤総務係長、上坂学校教育課長、政二生涯学習・スポーツ課長から説明し、全員意義なく承認した。

議案第 17 号 令和 2 年度魚津市教育委員会重点施策について

南塚次長、各担当課から説明し、全員意義なく承認した。

(3) 報告事項

- ① 令和元年度 3 月補正予算について
- ② 公共施設再編方針案（令和元年度改訂版）について
- ③ 小中学校卒業式及び入学式の出席予定について
- ④ 生涯学習・スポーツ課（3 月）主要行事について
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症への対応について

議事

【新川学びの森天神山交流館条例施行規則の一部改正について】

伊東委員

様式の改正する場合、文字間隔や行間隔などは書き手の立場になって書きやすいものになるよう留意してほしい。

畠山教育長

これについては、すべての文書にあてはまることなので今後改正等を行う際に留意していかねばならないと考えています。

【魚津市立博物館条例施行規則の一部改正について】

伊東委員

今回の改正によって、経費削減額はどのぐらいになるか。

塩田生涯学習・文化係長

人件費分として年間 1,000 千円程度の予算削減を見込んでいる。

【魚津市少年補導センター設置要綱の制定について】

伊東委員

これまでの要綱では、センターの運営を行うにあたって、運営協議会を設けていたが、今回の要綱ではそれに代わるものが示されていないが、大丈夫か。

山浦委員

現行の要綱での運営協議会は行われていたのか。

塩田生涯学習・文化係長

運営協議会は少なくとも 10 年は行われていませんでした。ただし、少年補導委員で構成される「魚津市少年補導委員会」という組織で活動計画等を協議していました。

伊東委員

今回の要綱と少年補導委員会との関係がはっきりしない。センターの意思決定機関として何らかの表現が必要ではないか。

畠山教育長

今ほどのご意見はもともとであるので、その内容を盛り込んだ形で再検討し、要綱については条項を追加する形で次回の教育委員会で報告させていただきたい。

【公営施設使用の個人演説会等の開催のために必要な整備の程度その他必要な事項について】

伊東委員

片貝公民館がコミュニティーセンター化することであったが、市の管轄としてはどこになるのか。

山本地域協働課長

これまでは教育委員会地域協働課でしたが、コミュニティーセンター化すると市長部局地域協働課になります。

【教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（平成 30 年度分）について】

片山委員

意見にあった「チャチャチェ」とは何か。

政二生涯学習・スポーツ課長

これは、市教委独自で行っている事業であり、未就学児を対象とした運動指導です。「チャチャチェ」は、「チャンス・チャレンジ・チェンジ」の略でこれも市教委独自で考えた造語です。

伊東委員

学識経験者からの意見は、施策ごとに専門家に聞いているが、例えば学校教育について、学校関

係者、教職員OB等以外にも意見を聞いたほうが良い意見が出るのではないか。

山浦委員

学識経験者の中には、地域の人や現職教員に情報提供を求めているケースもある。

伊東委員

全く違う分野から意見を聞くことで、いろいろな意見が出て参考になると思う。

学識経験者からの意見に対して何らかの回答をしているのか。

政二生涯学習・スポーツ課長

社会教育委員さん等には、会合のなかで回答を行っているところです。

【令和2年度魚津市教育委員会重点施策について】

伊東委員

重点事業の中で、教職員の働き方改革につながる部分はどこか。予算的にも見えるところはあるか。

上坂学校教育課長

教職員の負担を軽減するために、教育環境一般管理のところで、スタディメイトの1名増員により800千円増、部活動指導員を2名増員で400千円増など総額3,000千円程度の人件費の増額を予算化しています。

伊東委員

限られた予算の中で何か工夫はあるのか。

南塚次長

予算には現れませんが、校務支援システムの導入による業務の効率化や電話対応の簡略化など考えていきたいと思います。

伊東委員

プログラミング教育や英語教育については、重点事項として充実していくものと思うが、学校によって指導内容が違ってくることが懸念されるのではないか。

上坂学校教育課長

プログラミング教育については、教科ではないためモデルカリキュラムの作成はするものの、どのように運用していくかは各学校での対応になる。英語教育については新年度から教科化されるにあたり、ALTの増員や教職員研修の充実などで対応していきたい。市教委として研修等で教職員間の情報交換等を行うことにより学校間で格差が出ないようにフォローしていきたい。

伊東委員

英語教育については、時数をまとめたほうが、学習効果が上がると考えられるが、そのような取り組みを行うことは可能か。

上坂学校教育課長

授業については担任とALT等の外部講師で行うことになり、学期をまたいだ時数変更をおこなうことは難しいです。

山浦委員

プログラミング教育や英語教育について、市内の小中学校で推進校等の指定はあるのか。

上坂学校教育課長

来年度は特に指定はありません。

片山委員

プログラミング教育や英語教育については興味のある児童生徒に対して特別な指導等を行うことはできるのか。

上坂学校教育課長

通常の学校授業での対応は難しいところがありますが、それぞれの推進会議では、外部・民間の方の協力をお願いしての授業や学校外でのイベント等で実施できないかを検討しているところです。

午後6時00分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。